

ひとが賑わうまち

【基本施策2】
産業活性化プロジェクト

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	農業の振興		
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名
	施策コード	A-2-1	シート作成者名
			農林水産課
			農業委員会事務局

① 施策の現状と課題	<p>わが国の農業は、農業従事者数の減少や高齢化、それに伴う荒廃農地の増加など多くの問題を抱えています。そのため、意欲と能力のある農業者が中心的担い手となる農業構造を確立することが急務の国策となっています。</p> <p>本市では、県農林事務所や普及指導センター、JA福岡京築などの関係機関で構成する京築地域農業・農村活性化協議会に積極的に参加し、人材育成を図る担い手部会や野菜・果樹産地の維持・拡大等を図る園芸・特産振興部会等で収益性の高い農業を実現するとともに、魅力ある農業づくりを進めるための協議を行っています。また、市内の農業状況について、行橋市、普及指導センター、JA福岡京築とで定期的に連絡会議を開催し、本市における農業者環境の現状や今後の課題について情報共有を行うなど、今後の施策展開に向けた協議を進めています。</p> <p>いちじくや菜種の加工品開発、菜の花米のブランド化について、平成15年度から関係機関と連携して実施しており、いちじくについては、平成22年度からJA福岡京築と連携し、青果だけでなく、ジャムやワイン煮などの加工品を東京や福岡、北九州、熊本などの新規市場で販売することに取り組んでいます。また、平成27年度に、JA福岡京築が策定した地域果樹産地構造改革計画中の新品種のキウイフルーツ「甘うい」の産地化を、本市も一体となって推進し、本市が「甘うい」の大産地として成功するように努める必要があります。このような特産物の開発や高付加価値化、ブランド化については、平成27年度に策定した「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「行橋市地域ブランド推進計画」に基づき推進していくことが重要です。</p> <p>さらに、基盤整備事業等農業振興にかかる環境づくりを推進していくとともに、新規就農者を増やす施策や生産方式を効率化する施策を国・県と連携して取り組んでいくことが必要と考えます。</p> <p>様々な取り組みを通じ、次代を担う農業者が展望ある農業経営を実践できる地域農業を目指し、農業が魅力ある産業として成立することができるよう努めていくことが必要です。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	主要施策名(1) 農業の担い手育成 担い手育成を目的とした各種協議会や関係機関と連携して農業後継者や担い手の育成推進に努めます。また、農業法人・農業事業体の設立支援や新規就農者の受入れ体制の充実等に努めます。
	主要施策名(2) 農産物の地産地消の推進 関係機関と連携して、市内外に地産物の流通経路構築や直販体制の充実に努めます。
	主要施策名(3) 特産物の加工品開発と販路拡大 教育機関をはじめとして、様々な関係機関と連携して、いちじく、菜種等の加工品開発、高付加価値化と販路拡大に努めるとともに、随時、必要な支援を検討します。また、キウイフルーツの産地化に向けた取り組みを進めます。
	主要施策名(4) 農地の保全 ほ場整備未整備地区の整備推進及び耕作放棄地の解消に努めます。

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度	目標値			達成度の説明 (R1年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	新規就農者数(人)	8	9	11	12	13	累計14	農家世帯員の新規自営農業就業者が減少傾向にある。R1年度 新規就農者1名		
	経営改善に取り組んでいる農業者数(認定農業者数)(人)	47	52	55	56	58	累計60	R1 新規認定者2人。		
	市奨励作物の作付面積(いちじく、菜種等)(ha)	58.4	32.4	32.0	31.5	31.0	31.0	作付け面積減の主な理由として、菜種について、ネコブ病が発生したため、作れる水田が減ったことによる。R3年度の目標値についてはR2年度と同数値の31とする。		
	ほ場整備の面積(ha)	955	959	970	975	991	991	現在、辻垣・道場寺・高瀬地区整備中。R4年度工事完了予定。		
					981.2					

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(1) 農業の担い手育成 昨年度の事業進捗状況 県が主催する非農家に対する就農説明会等に参加し、1名の新規就農者の認定をした。
	残された課題・今後必要な取り組み 新規就農希望者の数は減少しており、国からの支援制度を多くの人に周知する必要がある。また、支援を受けるにあたっての事務手続きが煩雑なため、簡略化を要望していく。
	主要施策名(2) 農産物の地産地消の推進 昨年度の事業進捗状況 前年度に引き続き「けいちく甘キャベツ」の生産拡大を図った。また3月に出荷可能な新たまねぎ「けいちく新たまねぎ一番」の出荷を開始した。
	残された課題・今後必要な取り組み 農産物直売所において、来客数が減少傾向にあり、集客力の向上に向けた農産物商品の品揃え充実が必要である。さらに地元農産物の消費者へのPRが重要であるため、農産物の品揃え充実、及び地元産果樹の地産地消の取り組みを行うと共に販路拡大を図る。
	主要施策名(3) 特産物の加工品開発と販路拡大 昨年度の事業進捗状況 ふるさと納税返礼品として販売をすすめた。
	残された課題・今後必要な取り組み 品薄状態が続いており、生産・販売者に原材料の増産を依頼していく。
	主要施策名(4) 農地の保全 昨年度の事業進捗状況 辻垣・道場寺・高瀬地区のほ場整備事業を実施中である。また、稲童地区のほ場整備事業の事業化に向けて、地元農業者を中心とした稲童ほ場整備推進委員会を設立した。
	残された課題・今後必要な取り組み 地域の担い手に離農する農家の農地を集積し、耕作放棄地の発生を防止する。既に耕作放棄地となっている土地の再利用化が課題となっている。
	昨年度の事業進捗状況 残された課題・今後必要な取り組み
	昨年度の事業進捗状況 残された課題・今後必要な取り組み

6	事務事業名	事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	中山間地域等直接支払事業	16,592	14,212	2,380	15,545 15,800	14,215 14,190	1,330 1,610	15,904	14,224	1,680	1
	2	有害鳥獣捕獲事業	5,740	1,470	4,270	4,986 6,624	1,766 1,654	3,220 4,970	5,614	1,694	3,920	6
	3	農業振興事業	8,468	5,248	3,220	11,838 11,872	8,548 8,302	3,290 3,570	6,349	4,319	2,030	5
	4	天災資金・農家経営改善資金等利子補給事業	704	4	700	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	5	農業者育成支援事業 (農業者戸別所得補償制度事業)	29,410	22,690	6,720	26,801 22,216	20,221 16,476	6,580 5,740	23,460	17,930	5,530	2
	6	農地中間管理事業	5,069	1,709	3,360	5,175 5,063	1,745 1,633	3,430 3,430	5,344	2,334	3,010	4
	7	活力ある高収益型園芸産地育成事業	6,946	5,476	1,470	20,621 421	18,941 421	1,680	15,349	14,019	1,330	11
	8	畜産総合対策事業	3,798	1,628	2,170	2,539 3,154	1,629 1,544	910 1,610	3,800	1,630	2,170	12
	9	ふくおかの畜産競争力強化対策事業	6,757	4,657	2,100	5,967 2,694	5,057 1,224	910 1,470	3,659	1,489	2,170	13
	10	水田担い手機械導入支援事業	19,526	18,476	1,050	20,699 13,534	17,969 11,644	2,730 1,890	9,679	7,859	1,820	10
	11	一般農業用施設整備事業	50,853	44,693	6,160	46,562 49,595	40,052 43,085	6,510 6,510	53,321	43,871	9,450	15
	12	法定外公共物管理事業	1,500	1,500	0	1,500 1,385	1,500 1,385	0 0	1,500	1,500	0	14
	13	給食センター建設関連事業	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	14	緊急雇用創出事業	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	15	特定防衛施設周辺整備事業	48,333	44,693	3,640	31,040 44,578	27,400 40,938	3,640 3,640	20,097	16,037	4,060	8
	16	土地改良施設維持管理適正化事業	49,010	47,330	1,680	37,571 20,643	33,231 16,303	4,340 4,340	31,083	28,983	2,100	9
	17	東九州自動車道整備事業	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	18	再編関連訓練移転等交付金事業	44,829	40,839	3,990	46,640 25,875	43,000 22,235	3,640 3,640	87,422	85,672	1,750	7
	19	農村環境整備事業	52,742	47,352	5,390	54,085 24,049	49,745 19,709	4,340 4,340	50,223	47,423	2,800	3
	20											

上段：見込値
下段：実績値

7	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>農業を取り巻く環境は、農業従事者数の減少や高齢化に加え、耕作放棄地の増加等大変厳しい状況であります。このような状況を踏まえ、今後も農地利用集積による耕作放棄地の解消や新規就農等担い手の確保・育成を進めてまいります。また、JAや普及センター等関係機関と連携を図りながら農業者にとって収益性が高く魅力ある農業生産環境の整備を進め、農産物の生産・加工・販売を一体的に行う6次産業化や地産地消を推進し、農産物のブランド化や特産品づくりを進めてまいります。</p>
---	---

8	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	----------------------------

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	水産業の振興		
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名
	施策コード	A-2-2	シート作成者名
			農林水産課
			-

① 施策の現状と課題	<p>近年、国際化の進展・健康志向を背景に水産物の世界的需要は高まっていますが、多くの水産資源が減少傾向にあり、資源管理の重要性が高まっています。また、藻場・干潟の減少や磯焼けの進行、漂流・漂着ゴミの増加等により水産動植物の生育環境が悪化しており、漁業生産への悪影響が懸念される状況となっています。</p> <p>本市においてもヨシエビの中間育成、クルマエビ・ガザミの放流を行っています。令和元年度の漁獲量は254トンと減少傾向となっています。このため、海面・内水面を通じた生育環境の改善及び資源の管理・回復、増養殖の推進が必要です。</p> <p>漁業就業率については、資源状況の悪化、魚価の低迷といった経営環境の悪化に加え、漁港施設の老朽化など、労働環境が改善されないことから、若い漁業者を中心に減少しています。また、漁船についても高船齢化が進行しており、こうした状況が続けば将来を担う就業者の確保や漁船取得が十分には望めず、近い将来において活力が急速に低下し、漁業生産の継続が困難となる事態が予測されます。</p> <p>このため、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を含めた水産物の安定供給基盤の整備及び安心して定住できる災害に強い漁村の整備を推進するとともに、新規就業・参入を促進し、継続的に漁業活動を担い得る漁業経営、人づくりを進めていく必要があります。</p> <p>公設卸売市場については全国的に取扱量が減少しており、本市の魚市場についても同様でありましたが、令和元年度の取扱量は1,838トンと上昇しております。ゆえに、魚市場を流通拠点とし、産地の販売力強化と流通の効率化・高度化をさらに促進するとともに、水産物の高付加価値化を図ってまいります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	主要施策名(1) つくり育てる漁業の推進 中間育成・種苗放流等の資源管理型漁業及び海面養殖事業を推進し、資源の増殖を図るとともに、漁場管理と漁獲量の増大に努めます。
	主要施策名(2) 生育環境の改善 海域環境に応じた手法により藻場・干潟の保全及び生育環境の改善に努めます。
	主要施策名(3) 漁業基盤の整備 沿岸漁業の陸揚げ拠点となる漁港の整備を進め、漁船漁業の近代化と充実を図ります。また、漁港施設の老朽化・長寿命化対策を推進します。
	主要施策名(4) 災害に強い漁業地域づくり 堤防等の海岸保全施設や避難路・避難地の整備を進め、防災力の強化を図ります。
	主要施策名(5) 漁業就業者の育成 漁業就業者の減少・高齢化に対応するため、定住条件の整備を図り、意欲的な新規就業者の参入を促進するとともに、担い手たる漁業者の漁業技術及び経営管理能力の向上や後継者の育成を図ります。
	主要施策名(6) 販売力強化と流通の効率化・高度化 魚市場を流通拠点とし、産地と消費者とをつなぐ多様な流通経路の構築により産地の販売力強化を図るとともに、情報インフラを活用した販路拡大を推進します。
	主要施策名(7) 水産物の付加価値化 豊前海一粒かき等の水産物のブランド化や活魚の出荷体制を強化し、高付加価値化を図ります。

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値			過年度実績			評価年度	目標値			達成度の説明 (R1年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		R1年度	R2年度	R3年度	
	クルマエビ・ヨシエビ・ガザミの漁獲量(t)				330	300	330	港勢調査による クルマエビ：11.3t、ヨシエビ：143.5t ガザミ：99.6t				R3年度目標値を1,900とする。
		272	265	267	254							
	漁港施設の機能強化・機能保全計画の事業進捗率(%)				92	95	98	事業費/総事業費 =7,302/7,938百万円				
		73	82	88	92							
	公設卸売市場の取扱量(t)				1,700	1,850	1,900					
		1,600	1,453	1,600	1,838							
	新規就業者数(人)				1	1	2					
		0	0	0	0							

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(1) つくり育てる漁業の推進 昨年度の事業進捗状況 栽培漁業としてクルマエビ・ガザミの直放、ヨシエビの種苗育成・放流、浅海増殖事業としてアサリ(親貝)の放流を行いました。
	残された課題・今後必要な取り組み 水産資源・漁獲量の減少や不安定な漁業経営等の現状に対応するため、今後つくり育てる漁業である「栽培漁業」「浅海増殖」等の事業を推進し、豊前海における水産資源及び漁業経営の安定に努めてまいります。
	主要施策名(2) 生育環境の改善 昨年度の事業進捗状況 海岸線に漂着した漂着物の撤去等を行い、干潟の環境保全に努めました。
	残された課題・今後必要な取り組み ヘドロ等の堆積により干潟環境の悪化の進行が懸念されている。魚介類等の育成場を提供するためにも、今後も藻場、干潟の保全及び環境改善の継続は必要である。
	主要施策名(3) 漁業基盤の整備 昨年度の事業進捗状況 沓尾漁港の計画上の施設整備は、R2工事で完了予定。また、老朽化した漁港施設、水域施設を機能保全工事により補修工事を実施した。
	残された課題・今後必要な取り組み 老朽化した漁港施設・水域施設の保全工事を機能保全計画に則り、進めていく。
	主要施策名(4) 災害に強い漁業地域づくり 昨年度の事業進捗状況 行橋市の生産拠点漁港の漁港施設(沓尾漁港)について、R1に漁港施設の耐震・耐津波診断を策定している。
	残された課題・今後必要な取り組み 今後はR2年度に養島漁港において、耐震・耐津波機能診断を策定予定である。また、耐震・耐津波性能を満足していない施設について、補強等の工事を計画していく必要がある。
	主要施策名(5) 漁業就業者の育成 昨年度の事業進捗状況 区画漁業種や機材のコスト等の件で弊害が生じ、実施できませんでした。
	残された課題・今後必要な取り組み 関係機関と連携を図りながら事業が円滑にすすめるよう取り組んで参ります。
	主要施策名(6) 販売力強化と流通の効率化・高度化 昨年度の事業進捗状況 販売拡大や流通経路の構築の検討を行いました。
	残された課題・今後必要な取り組み 一昨年度より行橋市魚市場もハモを「相対」での取引を行ってきたが、ほかの魚種に対しても行なっていきたいと考えています。

各主要施策の進捗状況及び課題等	主要施策名(7) 水産物の付加価値化
	昨年度の事業進捗状況
	行橋市ブランド推進委員会水産部会を立ち上げ、水産物のブランド化に向けた加工品開発の検討を行っています。また、「行橋市水産加工品開発戦略」を策定しています。
	残された課題・今後必要な取り組み
	「夏のハモ」「冬のかき（豊前海一粒かき）」の加工品開発に取り組んでいきます。

⑥	事務事業名	事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	つくり育てる漁業事業	7,324	3,964	3,360	9,198 7,810	4,438 2,560	4,760 5,250	8,886	4,336	4,550	1
	2	水産物供給基盤機能保全事業（行橋地区）	14,905	13,015	1,890	87,890 88,250	85,300 86,150	2,590 2,100	93,950	88,000	5,950	2
	3	杵尾漁港整備事業(機能強化)	15,413	11,773	3,640	206,490 223,310	205,300 219,810	1,190 3,500	92,100	90,000	2,100	3
	4	稲童漁港整備事業(機能強化)	560	0	560	3,650 3,646	2,600 2,596	1,050 1,050	0	0	0	6
	5	養島漁港整備事業(機能強化)	0	0	0	31,576 29,126	28,076 28,076	3,500 1,050	24,100	22,000	2,100	5
	6	海岸保全施設整備事業（養島海岸）	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	7	魚市場管理事業	14,407	10,417	3,990	15,555 13,410	10,095 9,910	5,460 3,500	21,286	16,946	4,340	4
	8	海岸保全施設整備事業（行橋地区）	17,010	15,120	1,890	0 0	0 0	0 0	0	0	0	7
	9	漁業者育成支援事業	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	-
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値
下段：実績値

⑦	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>水産物の安定供給を図るため、今後とも、老朽化した漁港施設の整備を推進し、既存ストックの長寿命化に努めます。海岸保全施設については、津波・高潮等による被害を防止するため、防災（ハード）・減災（ソフト）に向けた取り組みを行います。また、つくり育てる漁業事業として、クルマエビ、ガザミの種苗受入、直接放流やヨシエビの種苗受入、キャンパスでの中間育成、放流を継続実施し、水産資源の確保に努めます。公設卸売市場については、卸売高が減少していたが、平成30年度より増加している状況です。今後も経費削減や販売力強化を含め経営の安定化に向けた取り組みを行っていきます。</p>
---	--

⑧	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p>
---	----------------------------

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	商業・サービス業の振興			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名	商業観光課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-3	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>既存の商業地域における商業集積の変化、郊外における大型商業施設の進出が継続しており、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は一層厳しくなっています。</p> <p>本市では、行橋駅東西に多くの商業・サービス施設が進出しており、特に駅西側には新たな商業核が形成されています。一方、駅東側には既存の商店街（会）が形成されていますが空洞化が進み、厳しい状況が続いています。これまでに、年間を通して集客力のあるイベントの実施など商店街（会）活性化に取り組んできました。また、各商店街（会）の現状報告や取組みを共有し、新たな活性化に向けて協議する「まちづくり勉強会」や、商店街（会）の枠を超えて個店同士が講師を招き現状や今後の取組みについて協議する「キラリ輝く繁盛店事業」、夏まつりと同日開催とした商店街（会）イベントにも取り組んできました。しかし、なかなか成果が見えてきません。</p> <p>このため、中心市街地の空洞化に歯止めをかけ、人の往来を取り戻し、昼間人口、夜間人口（居住人口）共に高めるための牽引役となる施設としての図書館等複合施設整備事業や安全・安心な交通の確保とともに、将来に渡って持続可能な都市を目指す取組みの一つとして行橋停車場線都市計画道路事業に取り組んでおります。これらの取組みにより生まれる人の往来を受け止めるべき施策を商店街（会）及び地域住民と連携して積極的に取り組む必要があります。また、各商店街特有の魅力づくりや、それぞれの個性が持つ魅力を十二分に活かし、大型店などでは求めることの出来ない人と人とのふれあいや、消費者が必要とするモノとサービスを提供できる店づくりを推進していく必要があります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進</p> <p>商店街で勉強会を重ね、組織の連携と強化を図り、商店街が進むべき方向性を見出します。特に、行橋停車場線の拡幅や図書館等複合施設の建設を見通した魅力ある商業地形成に努めます。</p>
	<p>主要施策名(2) 魅力ある商店づくりの推進</p> <p>商工会議所・中小企業診断士らと協力し、魅力ある商店づくりを推進します。</p>
	<p>主要施策名(3) 創業者支援</p> <p>商工会議所相談窓口と市相談窓口の連携や創業者支援セミナー等により、創業者支援に努めます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度			目標値	達成度の説明 (R1年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
目標指標	まちづくり勉強会の参加延べ人数(延べ人数/年)	55	31	24	40 25	45	累計 206		先進的な商店街づくりの事例講習会をおこなった。	
	創業相談件数(件)	13	27	17	28 6	30	累計 123		商工会議所に6件の相談があり、連携を図った。	
	創業者支援セミナー受講者数(人)	6	7	10	16 7	20	累計 63		商工会議所にて創業者支援セミナーを2回開催した。	

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	<p>主要施策名(1) まちづくり勉強会の実施と魅力ある商業地域形成の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>各店主を交えた、まちづくり会議の開催及び魅力ある商店街作りに向けた商店街事例の講習会を行い、商店主間の連携を深めるとともに、情報交換がおこなえた。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>現在おこなっている、まちづくり勉強会等を継続しておこない、図書館等複合施設整備事業や行橋停車場線都市計画道路事業等、周辺の状況の変化に常に注視しながら、商店街の方向性について検討を重ねていく。</p>
	<p>主要施策名(2) 魅力ある商店づくりの推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>魅力ある商店街づくり事業の一貫として、第1回「行橋まちゼミ」をおこなった。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>「行橋まちゼミ」の規模拡大や改善を行い、更なる商店街・個店の魅力を知ってもらう事、新規顧客の獲得に努めていく。</p>
	<p>主要施策名(3) 創業者支援</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>商工会議所と連携し、創業を検討する事業者の相談や創業者支援セミナーを2回開催し、創業予定者等の支援をおこなった。</p> <p>残された課題・今後必要な取組み</p> <p>商工会議所等と連携し創業相談をおこなっているが、今後は金融機関等のその他関係機関とも連携を深め支援していきたい。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取組み</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取組み</p>
<p>昨年度の事業進捗状況</p>	
<p>残された課題・今後必要な取組み</p>	

⑥	事務事業名		事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
					事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	まちづくり勉強会事業	専門家を交えた勉強会の開催 視察研修	2,747	647	2,100	2,142	742	1,400	2,501	751	1,750	1
	2	商工業対策事業	商工会議所への中小企業育成事業及び地域活性化事業の補助、商店街イベントの支援等を行う。	11,250	8,450	2,800	11,020	9,480	1,540	12,487	9,337	3,150	2
	3	イルミネーション事業	JR駅前広場にて年末年始に、イルミネーションを実施する。	3,320	1,500	1,820	2,900	1,500	1,400	2,760	1,500	1,260	3
	4												
	5												
	6												
	7												
	8												
	9												
	10												
	11												
	12												
	13												
	14												
	15												

上段：見込値
下段：実績値

⑦	<p>施策全体の今後の方針と展望</p> <p>近年、郊外における大型商業施設の進出等により、商業・サービス業を営む小売業を取り巻く環境は厳しさを増している。とりわけ行橋駅東側の既存商店街は空洞化が進み、大変厳しい状況が続いている。しかしながら、東側には大原病院や福岡銀行など集客施設があり、図書館等複合施設整備事業や行橋停車場線都市計画道路事業も行われている。そういった集客施設や事業を活用し、商店街へ人を呼び込むため一層の努力が必要である。行政としては、今後もまちづくり勉強会を継続するとともに、商店街と一緒に将来展望について議論を進めていく必要がある。</p>
---	---

⑧	<p>総合計画審議会からの意見及び指摘事項等</p> <p>まちづくり勉強会や創業者支援セミナーの開催などの取組を評価しているが、コロナウイルス禍である状況等を踏まえ、リモート会議の形式で開催し、それをやっていることを全国に発信してはどうか。 商店街の単発的な事業やイベントでの集客は限界にきていると思われ、さらに、コロナウイルス禍のため、小規模な商店の経営が大打撃を受けている。 行橋駅前道路拡幅や図書館を含む複合施設までの動線を利用して、街なか活性化について、地元店主、行政、商工会議所で徹底的に話し合ったり、また、大学や高校の学生、若い起業希望者など新しい感覚を持った意欲のある人からの意見を聞く場も設け、早急に計画を打ち出す必要性にせまられていると思われる。 図書館等複合施設整備事業や行橋停車場線都市計画道路事業の推進と合わせて、商店街関係者、起業希望者、住民、行政など様々な意見を反映させながら中心市街地の再生を図ってほしい。</p>
---	---

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	工業の振興と企業誘致の推進			
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の主担当課名	企業立地課
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名	-
	施策コード	A-2-4	シート作成者名	

① 施策の現状と課題	<p>福岡県の北東部に位置する京築地域は、日産自動車九州をはじめ、トヨタ自動車九州、ダイハツ九州に加え日産車体九州の立地により、年間生産台数150万台を超える、国内有数の自動車産業拠点として発展しました。この地域における自動車の開発から生産までを一貫して担う自動車産業拠点地域として更なる発展が期待され、大手自動車産業への部品等の供給を行う二次サプライ企業等、今後、自動車関連企業の集積が一層進むものと考えられます。また、この地域は安川電機をはじめとした電気産業等の集積地でもあり、こうした地域の特性と東九州自動車道の開通により、陸・海・空全てのインフラが整備されたことによる強みがあります。これに加え、国産初の小型旅客機三菱スペースジェット生産に伴い、北九州空港周辺での航空産業進出が取り沙汰されています。稲童工業団地は完売しましたが、工業団地の拡張や民有地の活用を行い、今後もインフラの強み、自動車産業にかかると技術レベルの高さを積極的にアピールし、企業誘致活動を行っていく必要があります。</p> <p>地元の自動車関連企業で組織する「行橋市自動車産業振興協議会」において、技術支援や経営改善、協働研究、産学官連携事業など一定の成果が上がってきており、今後も受注の拡大、新規参入を積極的に推進していく必要があります。</p> <p>しかし、自動車関連企業の集積は進むものの、雇用情勢は依然厳しい状況です。本市を活性化し賑わいあるまちづくりを行うには、若者世代に定住してもらう必要があることから、企業誘致による雇用創出をはじめ、総合的な雇用機会の創出に引き続き取り組む必要があります。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 企業誘致の推進</p> <p>自動車関連企業を中心に、また近い将来、北九州空港周辺地域を中心とした航空産業関連企業の誘致を推進します。併せて、稲童工業団地の拡張や民有地の活用にも努め、陸・海・空のインフラ整備の強みのPRや優遇制度等の支援体制の拡充を図ります。また、製造業に限らず、企業の開発・研究部門やIT企業等の誘致活動を推進します。</p>
	<p>主要施策名(2) 産学官の連携強化</p> <p>「行橋市自動車産業振興協議会」を中心に、西日本工業大学や福岡県中小企業振興センターなどとの連携を図り、技術支援、経営改善、共同研究などを積極的に推進します。</p>
	<p>主要施策名(3) 雇用対策の推進</p> <p>企業誘致による雇用創出に努めるとともに、国や県との連携による総合的な雇用対策に取り組めます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度			目標値	達成度の説明(R1年度)
			H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
目標指標	新規誘致企業数(社)		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	福岡県企業立地課と連携をとりながら、自動車関連企業を中心に誘致活動を行ってきたが、新たに企業を立地させることはできなかった。 稲童工業団地の拡張を検討中。 工業団地内の各企業の従業員の積算方法を見直した結果、大幅な減となったが、目標値については従来通り1,500人とし、引き続き雇用増に取り組んでいく。	
		1	0	1	1	1	累計3			
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度			
	工業団地新規造成面積(ha)	0	0	0	0	1.7	累計1.7			
	稲童工業団地に勤務する従業員数(人)	854	1,311	1,471	1,500	1,500	1,500			
					1,161					

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	<p>主要施策名(1) 企業誘致の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>北部九州は国内における自動車生産拠点として重要な地域であり、陸・海・空全てのインフラが整備されたことによる強みを生かし、今後とも更なる発展が期待されることから、自動車関連企業を中心に製造業全般において誘致活動を行った。稲童工業団地は完売したため、工業団地の拡張の検討や民有地の活用を行った。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>民有地の活用による企業誘致活動と同時に、企業ニーズの把握に努めながら工業団地の拡張を検討する。</p>
	<p>主要施策名(2) 産学官の連携強化</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>地元の自動車関連企業で組織する「行橋市自動車産業振興協議会」において、地元大学において業界研究セミナー・学内合同企業説明会等の実施や学生による企業の工場見学を実施した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>「地域に根ざした企業に地元学生の就職を」という視点で、地元の高校・大学と連携を図り、行橋市に生産拠点のある企業による学内説明会などを継続して実施する。</p>
	<p>雇用対策の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>福岡県が実施する各種就労支援事業と連携を図るとともに、合同就職説明会を開催し、地場企業の求人情報を提供するなど総合的な雇用対策を実施した。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>引き続き、福岡県が実施する各種就労支援事業と連携を図るとともに、市独自の合同就職説明会の開催や関係機関と連携し、一人でも多くの雇用創出に努める。</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
	<p>昨年度の事業進捗状況</p>
	<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>
<p>昨年度の事業進捗状況</p>	
<p>残された課題・今後必要な取り組み</p>	

⑥	事務事業名	事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
施策構成 事務事業	1	サンワークゆくはし管理事業	13,270	12,220	1,050	15,757 15,407	14,917 14,567	840 840	15,966	15,126	840	6
	2	労働福祉・雇用推進事業	2,544	1,564	980	1,077 1,041	167 131	910 910	1,077	167	910	4
	3	緊急雇用創出事業	0	0	0	0 0	0 0	0 0	0	0	0	
	4	企業立地事業	7,913	1,403	6,510	7,142 6,741	1,542 1,141	5,600 5,600	6,947	1,347	5,600	1
	5	工業団地整備事業	3,290	0	3,290	4,070 4,069	1,270 1,269	2,800 2,800	3,800	1,000	2,800	2
	6	工業振興事業	4,259	199	4,060	3,768 3,703	268 203	3,500 3,500	4,693	1,193	3,500	3
	7	企業立地交付金交付事業	25,016	24,596	420	21,543 15,052	21,193 14,702	350 350	116,020	115,670	350	5
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											

上段：見込値
下段：実績値

⑦
施策全体の今後の方針と展望

稲童工業団地は完売しましたが、今後も稲童工業団地の拡張や民有地を活用することで新規企業の誘致活動を積極的に行いたいと考えています。
雇用については、「行橋市自動車産業振興協議会」を中心に産学官の連携を強化し、地域活性化、地方創生を推進するため、この地域に若い世代の雇用創出を図ります。また、市独自の合同就職説明会の開催や関係機関と連携を図り、一人でも多くの雇用創出に努めて行きたいと思っております。

⑧
総合計画審議会からの意見及び指摘事項等

施策評価シート《マネジメントシート》

施策名	観光の振興		
施策の体系	基本目標	ひとが賑わうまち	施策の担当課名
	基本施策	産業活性化プロジェクト	関係課名
	施策コード	A-2-5	シート作成者名
			商業観光課

① 施策の現状と課題	<p>本市における観光の位置づけとしては、観光による集客を図ることで特産品・中間製造業者の所得向上による雇用の創出が人口流出の歯止めとなり、本市の地方創生に繋がるとともに、地域住民の活動を促す重要な施策の一つと捉えています。また「行橋市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、海岸地域などの地域資源を活かした交流拠点の形成を図ることや、情報発信に努めることが基本目標となっています。地域の魅力を再発見し、広く市内外にPRする活動を通して、行橋市の認知度の向上や、郷土愛を醸成し地域に根付いた活動の継続が積極的な定住につながる要素にもなることと考えられます。また、これからの観光は地域がプロデュースして、従来観光資源としては気付かれていなかったような地域固有の資源を新たに活用し、体験型・交流型の要素を取り入れた旅行の形態が求められています。地域の特性を活かしやすいことから、地域活性化にもつながるものと期待されます。</p> <p>本市には、今川河畔の桜、潮干狩り、海水浴場、新田原の果樹園、国指定史跡の御所ヶ谷神籠石や掩体壕など多くの観光資源があります。これまでこれらの観光資源を生かした取組みとして、今川河畔の桜ライトアップ及び桜ウォーク、ビーチバレーやビーチサッカーなどの海水浴場でのスポーツイベントの開催などを行い、観光客を誘致してきました。</p> <p>さらに、北九州空港、JR行橋駅に加え、東九州自動車道等の交通アクセスの利便性を最大限に活用することも必要となります。一方、特産品においては「行橋市地域ブランド推進計画」に基づいていちじくや桃、豊前海一粒かきなどの特産品について、生産者と協力しながら新商品の開発に取り組み、広くPRすることとしています。</p> <p>また、組織強化を図る観光協会を観光事業実施の重要な核として、引き続き支援を行いながら自立した組織運営を促すことも必要です。さらなる観光資源の掘り起こしや観光案内板の整備、情報提供の充実がこれからの課題です。加えて、多様化する観光客のニーズに対応するために、さらには外国からの観光客誘致も視野に入れ、近隣自治体と連携した広域による観光開発の取組みとネットワークづくりも必要となってきます。</p>
	② 施策の基本方針

③ 施策の内容 (主要施策)	<p>主要施策名(1) 情報提供の充実</p> <p>観光PRポータルサイトやSNSの利用、パンフレット配布、イベントへの参加など、様々な媒体を戦略的に活用して積極的な情報発信を図ります。また、国内外で行橋市の知名度を高めるための事業に取り組みます。</p>
	<p>主要施策名(2) 観光案内板の整備</p> <p>マイカーで観光地を訪れる人や外国からの観光客を目的地へ分かりやすく誘導するために、外国語併記の案内板を設置します。また、説明看板が古くなっているところは改修を行い、未整備の箇所については設置を進めます。</p>
	<p>主要施策名(3) 広域観光事業の推進</p> <p>近隣自治体と連携しながら、広域的な観光ネットワークに取り組み、雑誌や報道機関などの広報媒体や大手旅行代理店等を活用しながら観光客の誘致につなげます。</p>
	<p>主要施策名(4) 特産品の開発</p> <p>関係事業者の連携を促し、市の特色を生かした特産品開発に取り組み、その普及に努めます。</p>
	<p>主要施策名(5) スポーツイベント事業の推進</p> <p>海岸地域などの観光資源を活かしたスポーツイベントを実施し、行橋市のPRを行い、観光客の誘致につなげます。</p>

④ 目標指標	指標名(単位)	基準値	過年度実績			評価年度			目標値			達成度の説明 (R1年度)
		H27年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	観光入込客数(万人)	26	27	28	35 28	30	35	スポーツイベント等を実施し、観光客の誘客につなげました。				
	観光PRポータルサイトアクセス数(件)	-	56,000	77,000	79,000 110,000	115,000	120,000	イベント情報等、旬な情報を発信するよう心がけ、アクセス数の向上を図りました。				
	観光案内板整備(改修)数(箇所)	98	12	2	1 0	5	累計118	既存看板の点検及び今後に向けた協議を行いました。				
	特産品開発数(種類)	7	1	0	2 1	2	累計12	いちじくを使った商品の開発、既存の商品の包装紙をリニューアルして知名度の向上を図りました。				

上段：目標値、下段：実績値

⑤ 各主要施策の進捗状況及び課題等	<p>主要施策名(1) 情報提供の充実</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>観光ポータルサイトを中心に、各種イベント情報等の発信を行うとともに、行橋市観光パンフレット、海岸地域観光パンフレットの改訂を行いました。また、市内外で行われたイベントに参加し、パンフレット、観光PRムービーを活用し、行橋市のPRを行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>観光ポータルサイトのアクセス数等の分析を行い、より観光客のニーズにあった情報発信を行っていくことが課題です。また、パンフレット等の情報媒体の有効活用を行い、さらなる知名度の向上を図ることが必要であると考えます。</p>
	<p>主要施策名(2) 観光案内板の整備</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>既存看板の点検を行うとともに、今後に向けた協議を行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>今後についても、未整備箇所の設置をすすめ、老朽箇所の改修を行います。</p>
	<p>主要施策名(3) 広域観光事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>東九州道の今川PA内にパンフレットブースを設置し、2市2町(行橋市・豊前市・築上町・みやこ町)のPRを年度を通じて行いました。また、2市2町の観光スポットや特産品を紹介したリーフレットを作成しました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>多様化する観光ニーズに対応するため、近隣自治体との広域ネットワーク形成を、より一層前進させるよう取り組みます。京築地域の強みを生かした、広域的な視点で観光コンテンツの磨き上げを行い、情報共有・交流を加速することが必要だと考えます。</p>
	<p>主要施策名(4) 特産品の開発</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>市特産のいちじくを使った、「いちじくラスク」の開発を行いました。また既存の商品について、イベントやSNS等でPRを行うとともに、今後の特産品開発に向けても協議を行いました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>特産品の知名度を上げ、販路の拡大を行うことが課題です。</p>
	<p>主要施策名(5) スポーツイベント事業の推進</p> <p>昨年度の事業進捗状況</p> <p>行橋市長井浜で開催した「ゆくはしビーチバレーボールフェスティバル2019」は、市内外の参加者によるビーチバレーボール大会をはじめ、音楽ステージ、フードイベントを同時開催し、約3,000人の来場がありました。また、長寿大橋を渡る海岸線をコースとした「ゆくはしシーサイドハーフマラソン2020」では、市内外から約2,900人の応募があり、会場本部やコース上でカキ汁や黒糖饅頭をふるまうなどして、行橋市のPRと特産品の宣伝効果につながりました。</p> <p>残された課題・今後必要な取り組み</p> <p>PR活動については、民間広報誌を利用した宣伝活動を積極的に行い、また、市広報係と連携をとりスポーツイベントの周知を行うことが課題です。</p>

6	事務事業名	事務事業の内容	H30年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R1年度 総事業費 (実績値)	(単位：千円)		R2年度 総事業費 (見込値)	(単位：千円)		優先順位
				事業費	人件費		事業費	人件費		事業費	人件費	
1	特産品開発事業	各関係機関と協議しながら、新たな特産品開発を進めていく	2,950	500	2,450	4,300	1,500	2,800	4,650	1,500	3,150	3
2	観光地環境整備事業	海水浴場や自然公園などの観光地整備事業を行う	3,535	2,485	1,050	3,774	2,724	1,050	3,792	2,742	1,050	4
3	行橋市観光協会事業	行橋市観光協会の事務及び会員と連携して観光事業を推進する	23,050	15,000	8,050	17,930	11,280	6,650	13,760	6,760	7,000	1
4	行橋市観光物産情報コーナー運営事業 削除	行橋市観光協会に物産コーナーの管理運営を委託。市と連携しながら、観光案内や特産品のPRを行う	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
5	今川河畔ライトアップ事業	今川河畔の桜開花時期にあわせて、ライトアップを行う	1,060	850	210	1,060	850	210	1,270	850	420	5
6	観光用トイレ改修等事業	既存の観光用トイレの便器の増設及び洋式化を行う	0	0	0	0	0	0	6,351	2,851	3,500	7
7	北九州空港地域PR事業	到着フロアにおける電照広告の掲示及び地域PRコーナーでの各種PR掲示	3,018	2,038	980	2,711	2,081	630	2,738	2,108	630	6
8	海岸地域観光振興事業	海岸地域の観光資源の活用を図り、イベント開催、HP作成を行う	9,048	5,898	3,150	6,630	6,000	630	7,400	6,000	1,400	2
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												

上段：見込値
下段：実績値

7

施策全体の今後の方針と展望

行橋市内の自然や特産品、文化財などの資源を市の観光資源として活用を図り、計画的に整備を行います。特に海岸地域の観光振興に重点的に取り組んでおり、既存資源を活かした地域の新たなブランド作り、話題作り、他地域と差別化できる取り組みを継続的に実施していきます。今後、当市の観光動向実態調査結果の活用、観光事業に関わる人材育成事業を実施し、戦略的な観光事業の推進を図るとともに、行橋市観光協会、周辺地域と連携しながら広域的な観光事業を視野に入れた組織作りに取り組めます。また、さらなる観光客の誘客を目指し、観光情報ポータルサイトの活用やイベントの開催などを通して、広く本市のPRを実施するとともに、周遊ルートの整備も進めていきます。

8

総合計画審議会からの意見及び指摘事項等